
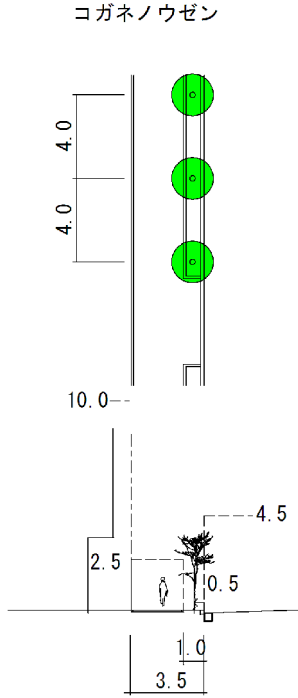
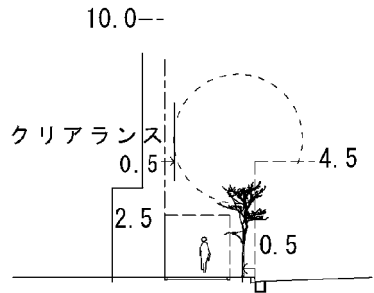
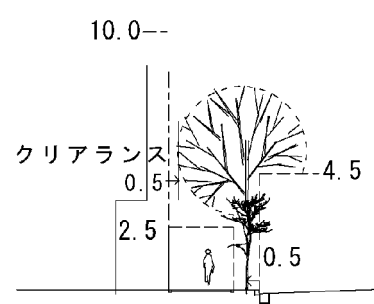

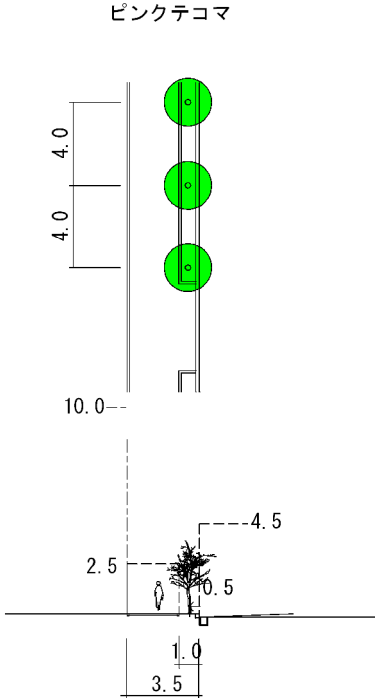
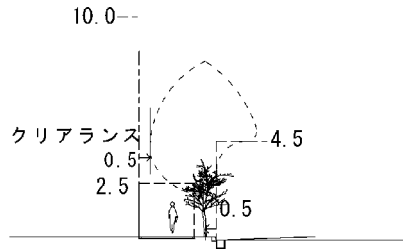
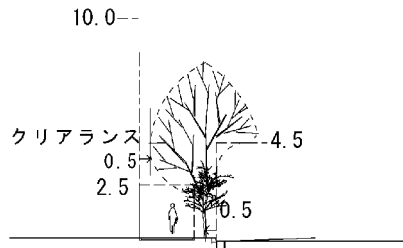



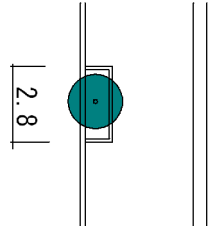
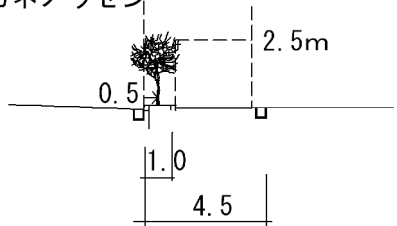
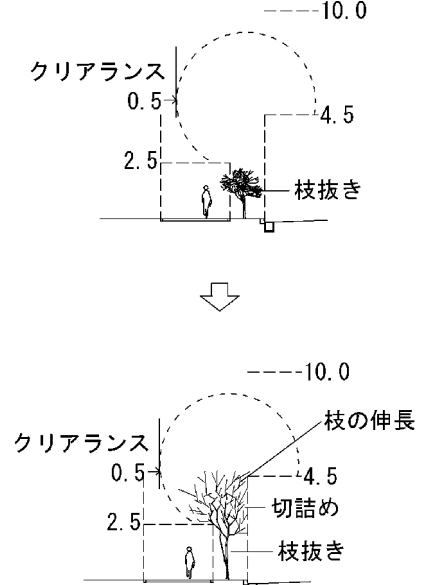
道路名：天久銘苅線 a

<p>植栽樹種</p>	<p>コガネノウゼン</p>	<p>図面</p>
<p>現況写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <div style="text-align: center;"> <p>コガネノウゼン</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;">緑量感不足のコガネノウゼン</p>	
<p>考察</p>	<p>台風により葉が枯れているが、枝先の伸長は良いので回復は見込める。国際高校沿いのコガネノウゼンは生育が揃っている。</p> <p>全体として樹木がまだ生長していないことから、緑化効果を発揮するまでには至っていない。欠株もある。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>※プロポーション  <math>W=3.5-(0.5+0.5) \times 2=5.0</math>  <math>H=5 \div 0.6=8.0</math></p> </div> </div>	
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>	
<p>剪定タイプ：育成タイプ</p>	<p>自然樹形：球形</p>	
<p>計画樹冠：H=8.0 . W=5.0m (枝張り比=0.6)</p>		
<p>剪定の要領</p>	<p>当面は樹木の伸張を待つ。目標樹高は8mなので、それまでは相当の年月を要する。</p> <p>目標樹高に至るまでに、建築限界に枝が進入するようなことがあれば、その枝の切り詰めを行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div>	
<p>特記事項</p>	<p>緑化機能を発揮するまでの期間が長すぎるので、別の樹種に変更することも一考。</p>	


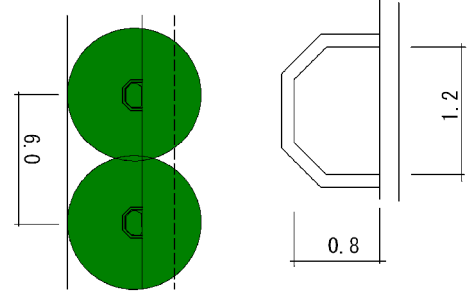
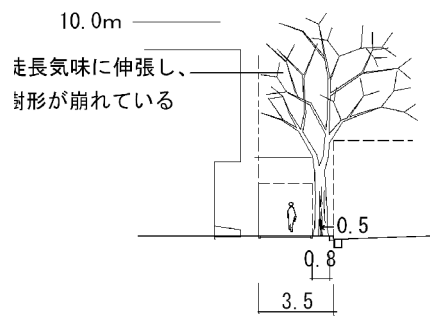
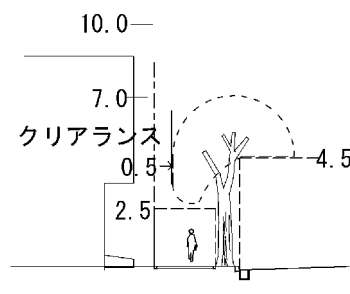
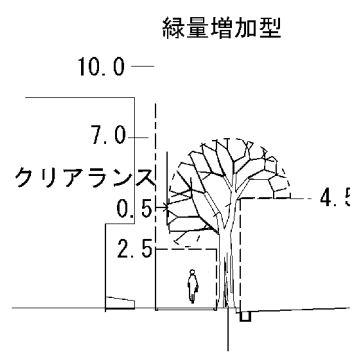
道路名：天久銘苅線 b

<p>植栽樹種</p>	<p>ピンクテコマ</p>	<p>図面</p>
<p>現況写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">  <div style="text-align: center;"> <p>ピンクテコマ</p>  </div> </div>	
<p>考察</p>	<p>樹木がまだ生長していないことから、緑化効果を発揮するまでには至っていない。先述のコガネノウゼンよりは伸張は速やか。</p> <p style="text-align: right;">※プロポーション  <math>W=3.5-(0.5+0.5) \times 2=5.0</math>  <math>H=5 \div 0.6=8.0</math></p>	
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>	
<p>剪定タイプ：育成タイプ</p>	<p>自然樹形：卵円形</p>	
<p>計画樹冠：H=8.0 . W=5.0m (枝張り比=0.6)</p>		
<p>剪定の要領</p>	<p>先述「コガネノウゼン」に準ずる。</p>	
<p>特記事項</p>		

道路名：銘苅真嘉比線

<p>植栽樹種</p>	<p>コガネノウゼン</p>	<p>図面</p>
<p>現況写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>コガネノウゼン</p>  </div>	
<p>考察</p>	<p>歩道は幅員 4.5mと広い。植栽されているコガネノウゼンの樹冠が小さく、緑量感に乏しく緑陰効果も発揮できない。 樹木の特性からして目標とするプロポーションに至るのは相当な年月を要する。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p>※プロポーション  <math>W=4.5-(0.75+0.5) \times 2=6.5</math>  <math>H=6.5 \div 0.8=8.0</math></p> </div>	
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>	
<p>剪定タイプ：育成タイプ</p>	<p>自然樹形：玉形</p>	
<p>計画樹冠：H=8.0 . W=6.5m (枝張り比=0.8)</p>		
<p>剪定の要領</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当面は樹冠が大きくなるのを待つ。</li> <li>・あえて、剪定を行うなら混んだ中枝を整理すること。但し、切除の際には完成時の樹形を想定し、副主枝を決めておくこと。</li> </ul>	
<p>特記事項</p>	<p>全体的に緑の量感不足であり、7割程度を緑量豊かな樹種に植え替えることも一考。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>	

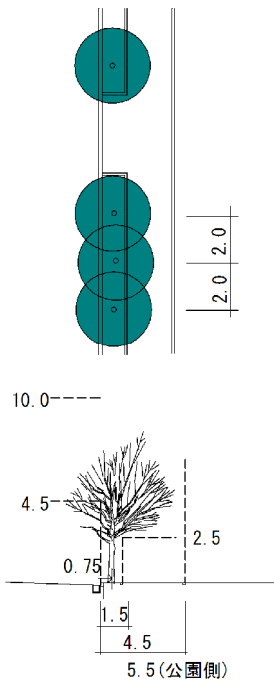

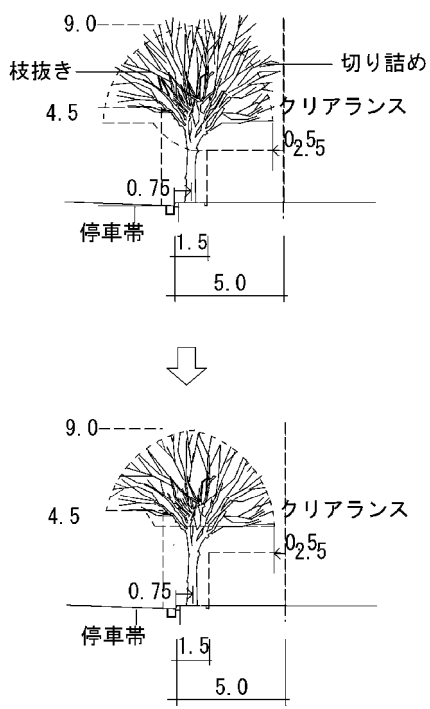
道路名：真嘉比山川線

<p>植栽樹種</p>	<p>フィカスハワイ</p>	<p>図面</p>
<p>現況写真</p>	 <div data-bbox="925 302 1396 638"> <p>フィカスハワイ</p>  </div> <div data-bbox="853 672 1284 996">  <p>10.0m</p> <p>走長気味に伸張し、 樹形が崩れている</p> <p>0.5</p> <p>0.8</p> <p>3.5</p> </div> <div data-bbox="813 1019 1204 1153"> <p>※プロポーション</p> <math display="block">W=3.5-(0.5+0.5) \times 2 + \alpha 2 = 7.0</math> <math display="block">H=5.0 \div 0.5 = 10.0</math> </div>	
<p>考察</p>	<p>幹周は約 1.4mまで肥大し、主幹は 2.5~4.0mの位置で分岐、樹高 10m程度まで徒長気味に伸張、樹形が崩れているが緑陰は豊か。</p> <p>植樹桝は 1.2×0.8mと小さく、根は比較的桝内に納まってはいるが、所々に根による縁石の損壊や舗装の持ち上げがある。</p>	
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>	
<p>みどり豊かな街並み景観の形成</p>	 <p>10.0—</p> <p>7.0—</p> <p>クリアランス</p> <p>0.5—</p> <p>4.5—</p> <p>2.5—</p>	
<p>剪定タイプ：縮小・樹形再生タイプ</p>	<p>自然樹形：傘状形</p>	
<p>計画樹冠：H= 10.0 m. W=7.0m (枝張り比=0.5)</p>	 <p>10.0—</p> <p>7.0—</p> <p>クリアランス</p> <p>0.5—</p> <p>4.5—</p> <p>2.5—</p> <p>緑量増加型</p>	
<p>剪定の要領</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主幹を高さ 4.5~5.0mの位置で切除し、4~5 年かけて傘状形に樹形を整える。</li> <li>・樹木特性として樹冠を地上高く形成する傾向があるので樹冠位置は高めになる。</li> <li>・傘状形を維持するなら「人工樹形」となり、樹冠は高くなる。</li> <li>・形はいびつとなるが、みどり豊かにするため「緑量増加型」の剪定を行う。</li> </ul>	
<p>特記事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植樹桝が小さく、部分的に縁石を損壊したり舗装を持ち上げたりしているので、その改善も必要</li> </ul>	


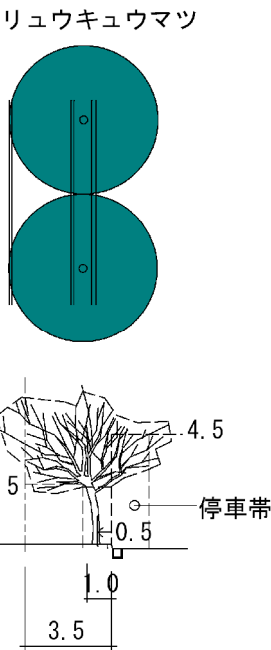
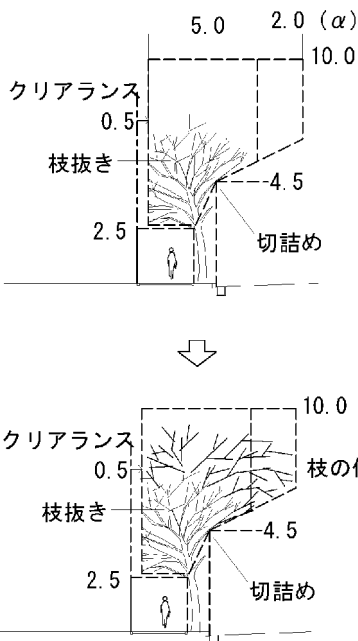
道路名：天久安里線 a (サンエーメイプレス周辺及び博物館前)

<p>植栽樹種</p>	<p>アカギ a</p>	<p>図面</p>
<p>現況写真</p>	<div data-bbox="209 331 555 788" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="220 801 497 869" data-label="Text"> <p>剪定された形跡がある。 樹冠はまだ小さい。</p> </div> <div data-bbox="949 309 1340 1003" data-label="Diagram"> </div>	
<p>考察</p>	<div data-bbox="183 943 798 1055" data-label="Text"> <p>生育は比較的良好だが、まだ目標まで育っていない。今後は樹冠を大きく育てることで、緑量感を増大させ、緑陰機能を向上させる必要がある。</p> </div> <div data-bbox="815 1021 1114 1137" data-label="Equation-Block"> <p>※プロポーション  <math>W=5-(0.75+0.5) \times 2=8.0</math>  <math>H=8 \div 0.8=10.0</math></p> </div>	
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>	
<p>みどりのライン軸の形成</p>	<p>剪定タイプ：育成タイプ      自然樹形：傘形状</p>	
<p>計画樹冠：H=10.0. W=8.0m (枝張り比=0.8)</p>	<p>剪定の要領</p>	
<p>剪定の要領</p>	<div data-bbox="183 1384 944 1541" data-label="Text"> <p>目標とする高さと同幅まで育つまでは、骨格となる幹を決め、立ち枝やからみ枝などの中枝を透かす剪定を行う。原則として切り詰め剪定は行わないが、部分的に突出している枝がある場合に切り詰め剪定を行い、萌芽を促して樹形を揃える。</p> </div> <div data-bbox="975 1245 1401 1944" data-label="Diagram"> </div>	
<p>特記事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際には枝は建築限界に枝が侵入しているが、駐車帯が2mと広いために整った樹形が維持できている。</li> <li>・一部に風の吹き通りのある場所があり、その部分だけが生育不良となっている。</li> <li>・サンエーメイプレス前はアカギの間にアカバナイツペー、台湾ンモクゲンジなどの花木が混植されているが、植栽間隔が狭いため樹形維持に支障がある。</li> </ul>	


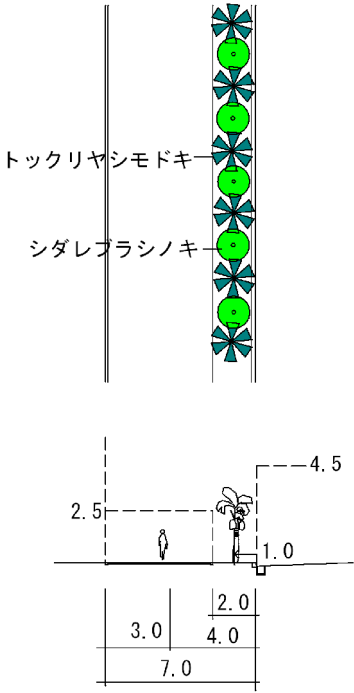
道路名：天久安里線 b 合同庁舎、国道58号付近

植栽樹種	アカギ b	図面
現況写真	 <p>※プロポーション  <math>W=5 \cdot (0.75+0.5) \times 2=8.0</math>  <math>H=8 \div 0.8=10.0</math></p>	
 <p>枝が密に出ている。樹冠は大きく建築限界はクリアしている。</p>		
<p>考察</p> <p>生育極めて良好。建築限界をクリアしており、緑陰効果などの緑化機能を発揮している。 この樹冠を維持していくことが重要である。</p>		
計画のテーマ・目標	剪定計画	
剪定タイプ：維持タイプ	自然樹形：傘状形	
計画樹冠：H=10.0. W=8.0m (枝張り比=0.8)		
剪定の要領	<p>計画目標の高さまで達しているため、樹冠線からはみ出た枝を切り詰め、混みすぎている中枝を透かし、風通しを良くし病虫害の防除や台風対策とする。</p> <p>なお、歩道上の下枝は既に建築限界よりも上にきているので、そのままの位置で樹冠をつくる。</p>	
特記事項		

道路名：銘刈泊線

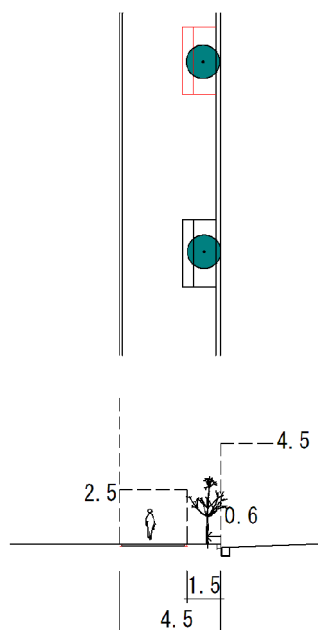

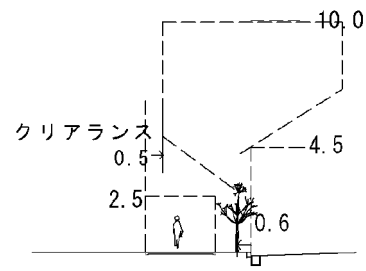
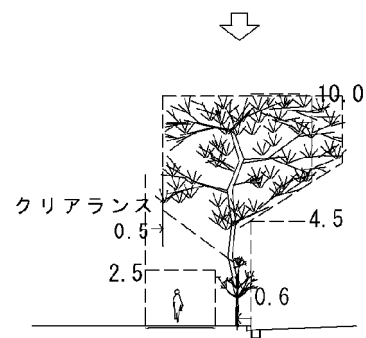
植栽樹種	リュウキュウマツ	図面
現況写真		
考察	<p>生育極めて良好で、緑量感があり緑陰形成機能も発揮している。</p> <p>実際には枝の一部が建築限界に侵入しているが、停車帯が広いので樹形が保たれている。</p>	
計画のテーマ・目標	<p>※プロポーション  <math>W=3.5-0.5-0.5 \times 2=5.0 + \alpha 2=7.0</math>  <math>H=5 \div 0.5=10.0</math></p>	
<p>風格あるみどり景観の形成</p> <p>剪定タイプ：育成タイプ</p> <p>自然樹形：盃状形</p> <p>計画樹冠：H=10.0、W=7.0m（枝張り比=0.5）</p> <p>剪定の要領</p> <p>車道側の建築限界に侵入した枝を幹際より切り詰め剪定を行う。残る他の枝はからみ枝などは切除するが、なるべくそのまま維持・伸長させ、樹冠を上部に誘導する。</p> <p>歩道側は民有地に侵入し、支障のある枝に限り切り詰め剪定を行う。</p>	図面	剪定計画
<p>剪定タイプ：育成タイプ</p> <p>自然樹形：盃状形</p>	<p>計画樹冠：H=10.0、W=7.0m（枝張り比=0.5）</p>	
<p>剪定の要領</p>	<p>車道側の建築限界に侵入した枝を幹際より切り詰め剪定を行う。残る他の枝はからみ枝などは切除するが、なるべくそのまま維持・伸長させ、樹冠を上部に誘導する。</p> <p>歩道側は民有地に侵入し、支障のある枝に限り切り詰め剪定を行う。</p>	
<p>特記事項</p>	<p>枝はなるべく自然に枝を伸ばし、風格ある樹形を維持することが肝要。</p>	

道路名：古島真嘉比線 a


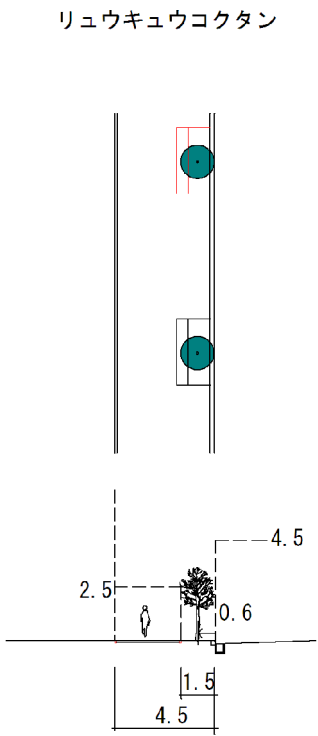
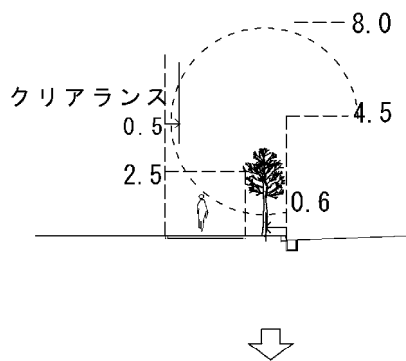
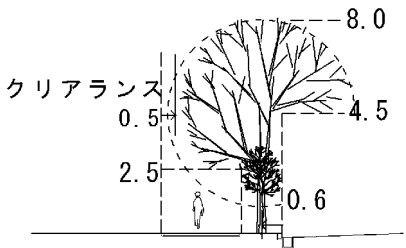
植栽樹種	トックリヤシモドキ	図面
現況写真		
 <p data-bbox="284 842 596 875">列植のトックリヤシモドキ</p>		<p data-bbox="1043 277 1235 304">トックリヤシモドキ</p> 
考察		
<p data-bbox="188 981 794 1055">病院前のトックリヤシモドキとシダレブラシノキの混植は、密であるにも関わらず緑量感に乏しい。</p>		
計画のテーマ・目標	剪定計画	
剪定タイプ：	自然樹形：ヤシ形	
計画樹冠：H= . W=m (枝張り比=)		
剪定の要領		
<ul data-bbox="197 1406 671 1440" style="list-style-type: none"> <li>・ 枯れ葉が生じた場合にその除去を行う。</li> </ul>		
特記事項		
<p data-bbox="197 1778 943 1852">歩道幅員が広いので、大型樹冠を中央部に植栽するなど、みどり豊かな歩道環境を形成することを検討することも必要。</p>		

道路名：古島真嘉比線 b


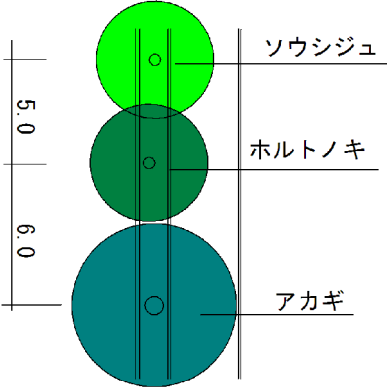
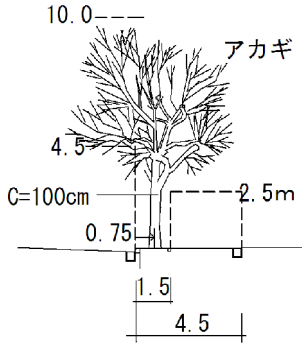
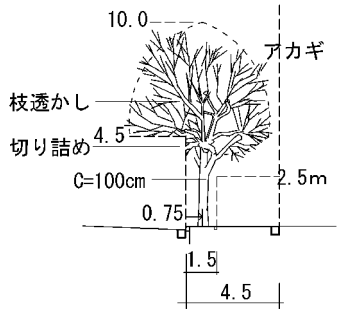
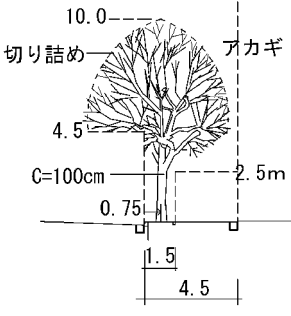


植栽樹種	リュウキュウマツ	図面	
現況写真	<div style="text-align: center;">リュウキュウマツ</div> 		
			
考察	<p>道路整備に伴い植栽されたリュウキュウマツは、まだ生長しておらず緑化効果を発揮するまでには至っていない。枯損したものもある。</p>		
<p>※プロポーシオン  <math>W=4.5-(0.5+0.5) \times 2=7.0</math>  <math>H=7 \div 0.7=10.0</math></p>			
計画のテーマ・目標	剪定計画		
剪定タイプ：	自然樹形：		
計画樹冠：H=10.0 . W=7.0m (枝張り比=0.7)			
剪定の要領			
<p>目標樹高は10mなので、それまでは樹冠が育つのを待つ。      それまでに建築限界に枝が進入するようなことがあれば、その枝の切り詰めを行う。      上方枝の切り詰めは行わないこと。</p>			
特記事項			

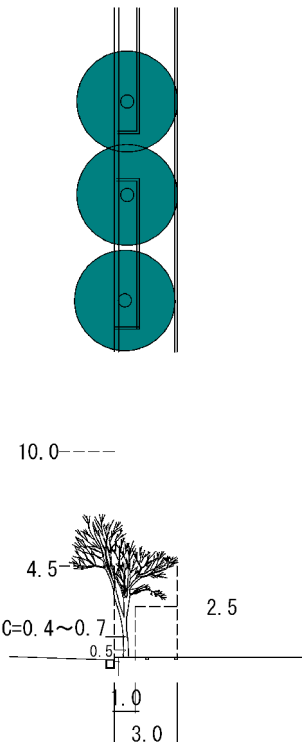

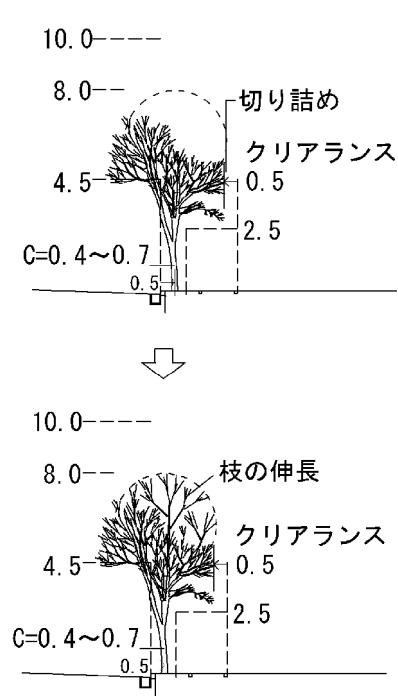
道路名：古島真嘉比線 c

植栽樹種	リュウキュウコクタン	図面	
現況写真			
考察	<div style="text-align: right;">  <p>リュウキュウコクタン</p> <p>※プロポーション  <math>W=4.5-(0.5+0.5) \times 2=7.0</math>  <math>H=7 \div 0.9=8.0</math></p> </div>		
計画のテーマ・目標	剪定計画		
剪定タイプ：	自然樹形：玉形		
計画樹冠：H=8.0 . W=7.0m (枝張り比=0.9)			
剪定の要領	<div style="text-align: right;">  <p>クリアランス 0.5 2.5</p> </div>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標樹高に至るまでには相当の年月を要する。</li> <li>・それまでに建築限界に枝が進入するようなことがあれば、その枝の切り詰めを行う。</li> <li>・樹冠を上部に形成することに重点を置き、上方枝の切り詰めは行わないこと。</li> <li>・歩道幅員が広いので枝張りは余裕をもって設定する。</li> </ul>	<div style="text-align: right;">  <p>クリアランス 0.5 2.5</p> </div>		
特記事項			


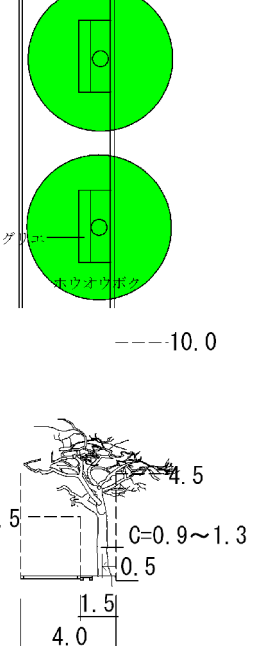
道路名：鳥堀石嶺線

<p>植栽樹種</p>	<p>アカギ</p>	<p>図面</p>
<p>現況写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="236 331 655 880">  </div> <div data-bbox="890 300 1278 689">  </div> </div>	
<p>考察</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="416 902 501 936"> <p>アカギ</p> </div> <div data-bbox="890 712 1193 1055">  </div> </div> <p>※プロポーション  <math>W=4.5-(1.5+0.5) \times 2=6.5 \div 7.0</math>  <math>H=7 \div 0.9=8.0</math></p>	
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>	
<p>剪定タイプ：維持タイプ</p>	<p>自然樹形：傘状形</p>	
<p>計画樹冠：H=8.0. W=7.0m (枝張り比=0.9)</p>		
<p>剪定の要領</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="181 1451 946 1653"> <p>樹冠は目標規格まで育ってきている。                      細かな枝が多いので、骨格をつくる副主枝を決めて残し、建築限界に侵入した枝や絡み枝など、その他の不要な枝を切除する。                      風通しを良くし、樹冠を軽くすることで病虫害対策や台風からの倒木防止につなげる。</p> </div> <div data-bbox="1002 1294 1342 1608">  </div> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="181 1776 946 1899"> <p>特記事項                      ソウシジュ、ホルトノキ、ホウオウボク等の樹木も同じ要領で剪定を実施する。</p> </div> <div data-bbox="1050 1686 1342 2000">  </div> </div>	

道路名：松山若狭線

<p>植栽樹種</p>	<p>リュウキュウコクタン</p>	<p>図面</p>	
<p>現況写真</p>	 <p style="text-align: center;">リュウキュウコクタン</p>		
<p>考察</p>	<p>生育極めて良好で、リュウキュウコクタンの樹冠が歩道幅員に適合している。</p>		<p>※プロポーション  <math>H=3.0-(0.5+0.5) \times 2=4.0</math>  <math>W=4.0 \div 0.5=8.0</math></p>
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>		
<p>剪定タイプ：育成・維持タイプ</p>	<p>自然樹形：玉形</p>		
<p>計画樹冠：H=8.0 . W=4.0m (枝張り比=0.5)</p>	<p>剪定の要領</p>		
<p>建築限界にはみ出した枝は切り詰め、玉形の樹冠線をつくるよう副主枝を決め、混んだ中枝を切除する。          目標樹高は8mなので、空いた部分は副主枝となる枝を切り詰め、そこから萌芽を促し、樹形を次第に完成させる。</p>			
<p>特記事項</p>			


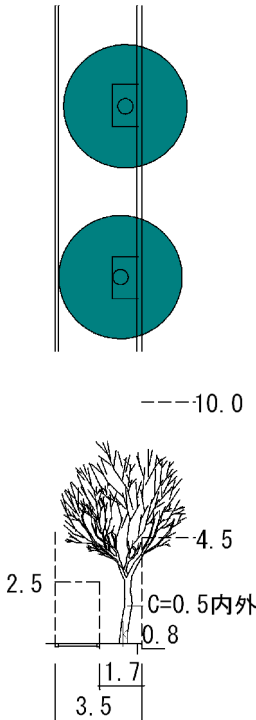
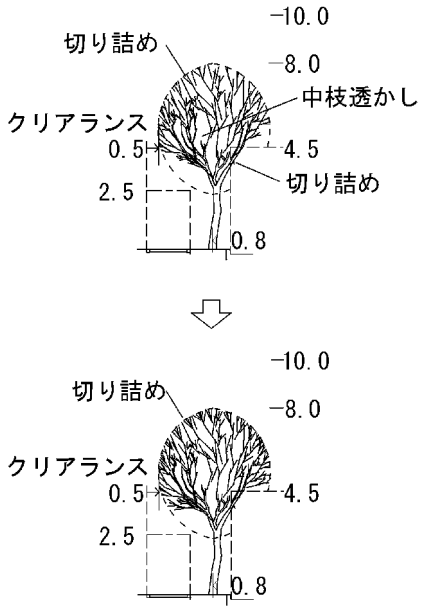
道路名：久米若狭線

<p>植栽樹種</p>	<p>ホウオウボク</p>	<p>図面</p>	
<p>現況写真</p>			
 <p>ホウオウボクでラインが形成されている</p>			 <p>---10.0</p> <p>4.5</p> <p>2.5</p> <p>C=0.9~1.3</p> <p>0.5</p> <p>1.5</p> <p>4.0</p>
<p>考察</p>	<p>台風の被害を受けて落葉しているが、枝先の伸長は良好で十分に回復は見込める。</p> <p>剪定後に萌芽した枝が生長し、樹冠がしっかりしている。</p> <p>風の吹き通りがあるのか、樹冠が低い。</p> <p>※プロポーション  <math>H=4.0-(0.5+0.5) \times 2=6.0</math>  <math>W=5.0 \div 0.6=8.0</math></p>		
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>		
<p>剪定タイプ：育成タイプ</p>	<p>自然樹形：傘状形</p>		
<p>計画樹冠：H=8.0 . W=6.0m (枝張り比=0.6)</p>			
<p>剪定の要領</p>			
<p>風が吹き通るため樹冠は高くはならないので、目標高さは8mとする。</p> <p>当面は建築限界にはみ出した枝、絡み枝等の中枝を整理しながら樹冠が上部に伸長するのを待つ。</p>	 <p>8.0</p> <p>クリアランス 0.5</p> <p>2.5</p> <p>4.5</p> <p>切り詰め</p> <p>0.5</p> <p>↓</p> <p>枝の伸長 8.0</p> <p>クリアランス 0.5</p> <p>2.5</p> <p>4.5</p> <p>0.5</p>		
<p>特記事項</p>			


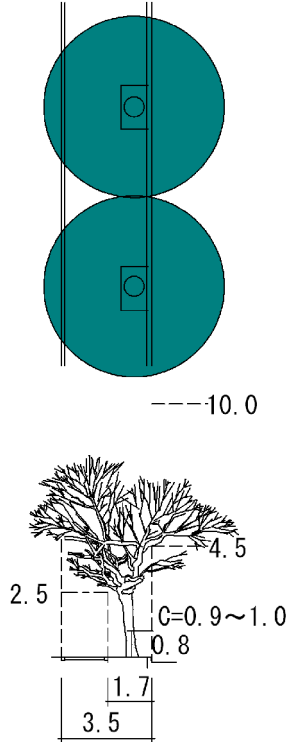
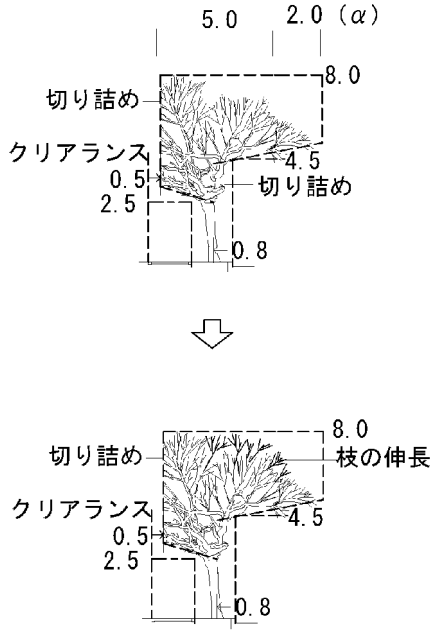
道路名：東町西線 a

<p>植栽樹種</p>	<p>モクマオウ</p>	<p>図面</p>
<p>現況写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="288 333 727 913"> </div> <div data-bbox="938 302 1165 1041"> <p>モクマオウ</p> </div> </div>	
<p>考察</p>	<p>台風の影響を受け枝の折損がいくらかあるが、生育は良好。</p> <p>※プロポーション  <math>W=3.5-(0.5+0.5) \times 2=5.0</math>  <math>H=5 \div 0.5=10.0</math></p>	
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>	
<p>剪定タイプ：育成・縮小タイプ</p>	<p>自然樹形：卵円形</p>	
<p>計画樹冠：H=10.0. W=5.0m (枝張り比=0.5)</p>		
<p>剪定の要領</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="188 1444 949 1601"> <p>幹の切断されたところから多くの萌芽枝が発生しているので、それを目標樹高の手前で切り詰め、大きな刈り込み物とする。 その後、萌芽して枝が目標樹高に達したら、その位置で切り詰め目標樹高の 10mを維持する。</p> </div> <div data-bbox="965 1288 1412 1982"> </div> </div>	
<p>特記事項</p>		

道路名：東町西線b

<p>植栽樹種</p>	<p>イスノキ</p>	<p>図面</p>
<p>現況写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>	
<p>イスノキ</p>		
<p>考察</p>	<p>生育良好で、樹高はほぼ目標に達している。中枝が混んでいる。</p> <p>※プロポーション  <math>W=3.5-(0.5+0.5) \times 2=5.0</math>  <math>H=5 \div 0.6=8.0</math></p>	
<p>生育良好で、樹高はほぼ目標に達している。中枝が混んでいる。</p>		
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>	
<p>剪定タイプ：育成・縮小タイプ</p>	<p>自然樹形：卵円形</p>	
<p>計画樹冠：H=8.0 . W=5.0m (枝張り比=0.6)</p>		
<p>剪定の要領</p>		
<p>目標樹高に達したものは、計画線よりも 1m程低い位置で切り詰めを行うとともに絡み枝などの中枝を透かす「縮小タイプ」の剪定を行う。</p> <p>目標に達していないものは、樹冠を形成する副主枝を決め、中枝を透かし上方枝は切り詰めない「育成タイプ」の剪定を行う。</p>		
<p>特記事項</p>		

道路名：東町西線 c

植栽樹種	ホルトノキ	図面
現況写真	 <p data-bbox="327 925 459 958">ホルトノキ</p>	
考察	<p data-bbox="188 1021 794 1099">ほぼ目標とする樹高に達している。枝の一部が建築限界をはみ出している。</p> <div data-bbox="989 313 1276 1052">  </div> <p data-bbox="818 1106 1034 1140">※プロポーシオン</p> <p data-bbox="818 1146 1197 1180"><math>W=3.5-(0.5+0.5) \times 2=5.0 + \alpha 2=7</math></p> <p data-bbox="818 1187 991 1220"><math>H=5 \div 0.6=8.0</math></p>	
計画のテーマ・目標	剪定計画	
剪定タイプ：育成・縮小タイプ	自然樹形：盃状形	
計画樹冠：H=8.0 . W=7.0m (枝張り比=0.6)		
剪定の要領	<p data-bbox="188 1447 943 1525">建築をはみ出した枝が、交通や民有地に支障をきたしている場合には切り詰める。</p> <p data-bbox="213 1532 619 1565">その他は先述のイスノキに準ずる。</p> <div data-bbox="986 1310 1422 1937">  </div>	
特記事項		